






野菜の需給・価格動向レポート(平成26年6月23日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格情報			6月の価格情報		生育及び価格の6月の見通し		
	平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿 ブロック旬別平均販売 価格		平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿 ブロック旬別平均販売価格			
		中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ 	84.37	85	66	67.20	56	・千葉産は、出荷の前進化により前年より早めにピークを迎え、今後は終盤期に向かい徐々に減少する見込み。茨城産は、天候に恵まれ生育は順調なことから、現在は前倒し多めの出荷であり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産が平年並みの出荷が見込まれることから、現在出荷が多く平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。	
		67.20						
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	264.10	328	346	264.10	338	・茨城産は、生育は順調でサイズが太いもの中心の出荷となっており、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、乾燥気味の天候であったが最近の降雨もあり生育は概ね順調で、今後は夏ねぎの出荷のピークを迎えることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みであること、千葉産の出荷が平年よりやや多めの出荷が見込まれることから、平年を上回っていた価格は平年並みに近づく見込み。	
		334.73	291	279	334.73	281		
	はくさい 	67.05	45	45	67.05	56	・長野産は、最近の降雨と低温により一時生育が遅れているものの、総体的には生育は順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は、例年どおり6月末で出荷が終了する見込み。 ・長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。	
		77.96	68	75	77.96	77		
	ほうれんそう 	376.10	498	404	376.10	340	・群馬産は、準高冷地の作付面積が減少したことから、総体的には平年をやや下回る出荷の見込み。茨城産は、生育は概ね順調なことから、平年並みの出荷の見込み。栃木産は播種期の乾燥により生育にばらつきが見られたものの、その後の降雨により回復傾向で少なめであった出荷も平年並みとなり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産が平年をやや下回る出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		396.89	505	436	396.89	454		
	レタス (結球) 	156.23	115	112	120.13	103	・長野産は、最近の降雨と低温により少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇につれて出荷が増えることが見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、4月～5月の乾燥により葉先が枯れる症状が見られたが、最近の降雨により回復が見込まれるものの、総体的には平年をやや下回る出荷を見込む。 ・長野産で平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		165.00	133	119	125.61	110		
	たまねぎ 	71.02	118	114	71.02	98	・佐賀産は、収穫は終了し、今後は貯蔵品の出荷となる。全体としては平年並みの作柄であったことから、出荷は平年並みの見込み。香川産は定植の遅れと4月の夜温が低かったことから小ぶり傾向でやや少なめの出荷となっており、今後もやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、収穫は終了し、平年並みの出荷の見込み。 ・佐賀産及び兵庫産の出荷が平年並みの出荷が見込まれるものの、香川産がやや少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年並み若しくははやや上回って推移する見込み。	
		71.02	118	113	71.02	101		
果 菜	きゅうり 	189.84	257	224	189.84	203	・群馬産及び埼玉産は、ハウスの倒壊による影響で引き続き少なめの見込み。福島産は朝晩の気温が低いことから、平年より若干少なめの出荷となっており、今後は平年並み若しくははやや少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産が少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		177.22	227	207	177.22	179		
	トマト (大玉) 	209.59	269	240	209.59	191	・栃木産は、降雨の影響で病害の発生があるものの、総じて平年並みの出荷の見込み。茨城産は一部の産地で大雪の被害を受けたものの、総体的に生育は概ね順調なことから平年並みの出荷の見込み。千葉産は6月中旬をピークに今後は終盤を迎えるため、徐々に出荷は減少する見込み。 ・栃木産及び茨城産が平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		228.53	284	257	228.53	218		
	なす 	297.07	346	331	297.07	321	・高知産及び福岡産は、出荷の終盤となる。栃木産は定植時の干ばつ傾向により生育に多少の遅れがあったが、最近の降雨により回復し、今後は引き続き平年並みの出荷の見込み。一方、群馬産は露地ものの生育は順調なものの、ハウスものが雪害の影響で少ないことから総的に少なめの出荷の見込み。 ・栃木産が平年並みの出荷と見込まれるものの、群馬産が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年並み若しくははやや上回って推移する見込み。	
		271.01	330	318	271.01	285		
	ピーマン 	308.36	274	245	251.50	222	・茨城産は、天候に恵まれ生育は順調で病害の発生もないことから、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、出荷が多く平年を下回っていた価格は平年並みで推移する見込み。	
		283.10	234	207	266.65	189		
	根 菜	だいこん 	86.59	75	69	86.59	63	・青森産は、干ばつ傾向であったが、最近の降雨により肥大が進み、生育は概ね順調で、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在ははやや多めの出荷となっており、出荷の終了する6月末までやや多めの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
			94.24	77	64	94.24	66	
		にんじん 	156.99	116	134	133.01	134	・千葉産は、早だしの産地が終盤を迎え、後続の産地は6月下旬のピークに向かい出荷の増加が見込まれることから、概ね平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、出荷の終盤となり徐々に出荷が減少し、6月末で終了する見込み。 ・千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	148.36		103	101	132.62	103		

種類	5月の価格情報			6月の価格情報		生育及び価格の6月の見通し		
	平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿 ブロック旬別平均販売 価額	平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関 東・近畿ブ ロック旬別平 均販売価額	上旬			
い も	さといも	-	325	490	344.00	562	・入荷見込量：273t (-) ・主産地：鹿児島(45)、宮崎(22)、輸 入(13)、千葉(12)	・鹿児島産は、現在離島からの出荷となっており、降雨により計画通りの掘り取 り作業が進まず、若干の遅れがあることから平年並み若しくは平年よりやや少な めの出荷の見込み。宮崎産は、肥大期に適度な降雨があったことから生育は順調 で平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・鹿児島産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめと見込まれることか ら、少なめの出荷で平年を上回っている価格は、平年並みに近づくと見込み、引き 続き平年を上回って推移する見込み。
	ばれいしょ	131.80	116	120	131.80	120	・入荷見込量：8,630t (100) ・主産地：長崎(52)、静岡(19)、千葉 (7)、茨城(6)	・長崎産は、梅雨入りしたものの順調に収穫は進んでほぼ終了し、平年並みの出 荷の見込み。静岡産は、現在ピークを迎えて順調な出荷となっており、今後平年 並みの出荷の見込み。 ・長崎産及び静岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在出荷が多く平 年をやや下回っている価格は、平年に近づくと見込み。
		131.80	125	129	131.80	129	・入荷見込量：3,300t (98) ・主産地：長崎(75)、熊本(9)、静岡 (7)	

- 注：1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。
8 キャベツの平均価格は上段が5月1～15日まで、下段は5月16日～31日までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,871gで前年比97%、購入金額は、1,887円で同104%となった。
また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、183円で過去5か年平均比109%となった。レタスは、347円で同93%となり、過去5か年平均を下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年		
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887
5月	5,103	1,902	5,257	1,861		0	
6月	5,092	1,885	5,249	1,897		0	
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0	
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0	
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0	
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0	
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0	
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0	

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	198	267	135	673	684	102
2月	211	234	111	605	578	95
3月	200	200	100	498	459	92
4月	248	206	83	469	381	81
5月	169	183	109	371	347	93
6月	137		0	317		0
7月	153		0	322		0
8月	140		0	415		0
9月	149		0	506		0
10月	158		0	449		0
11月	162		0	421		0
12月	162		0	521		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
2 平成26年5月の値は、5月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

5月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比158%(中国は同170%、ニュージーランドは同149%)の2万7千トン、にんじんは、同97%(中国は同102%、ニュージーランドは同45%)の5千3百トン、ねぎは、98%(中国は同98%)の4千3百トンとなった。たまねぎは、前年を大幅に上回り、にんじん及びねぎは、前年を若干下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成24年		平成25年		平成26年1～4月		平成26年4月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	371,454	120	97,188	118
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	601,981	101	158,748	97
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	973,435	108	255,936	104
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	478,025	107	121,839	101
中国産シェア	51		52		49		48	

資料：ベジ探(原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成25年5月(A)	平成26年5月(B)	(B)/(A)
		17,104	27,018	158
たまねぎ	合計	17,104	27,018	158
	中国	14,035	23,912	170
	ニュージーランド	1,470	2,183	149
にんじん	合計	5,508	5,349	97
	中国	4,853	4,953	102
	ニュージーランド	504	227	45
ねぎ	合計	4,379	4,292	98
	中国	4,360	4,277	98

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年5月は、速報値。

4 トピック — 指定野菜の生産動向と野菜指定産地について —

今回は果菜類の生産動向を紹介したが、今回は指定野菜(14品目)の作付面積の増減率(平成24年/平成15年)を、指定産地と指定産地外の別に比較した。

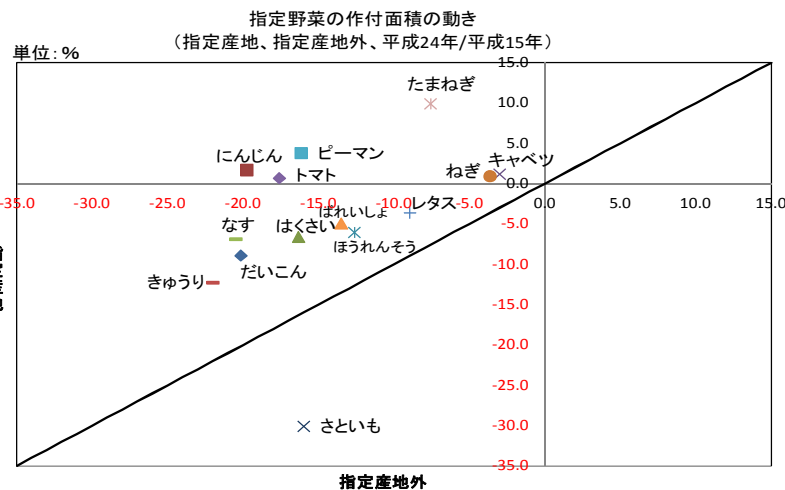
指定産地外ではすべての品目で減少したのに対し、指定産地では、にんじん、キャベツ、ねぎ、トマト、ピーマン、たまねぎでは増加し、それ以外の品目でも、さといもを除いて指定産地の減少率は指定産地外に比べて小さく、指定産地の野菜生産が相対的に確保されていることがうかがえる。

指定産地の作付面積の増加率が最も大きいたまねぎは、指定産地の出荷割合が80%と高く、さらに指定産地の作付面積のうち北海道が6割を占めるなど、主要産地は特定の道県に形成されている。

このため、北海道を含めた主要産地の豊凶変動が全体の需給に与える影響も大きく、出荷量の増減(減少：平成17年、22年、23年、増加：平成19年、20年)に呼応して輸入たまねぎの増減がみられる。

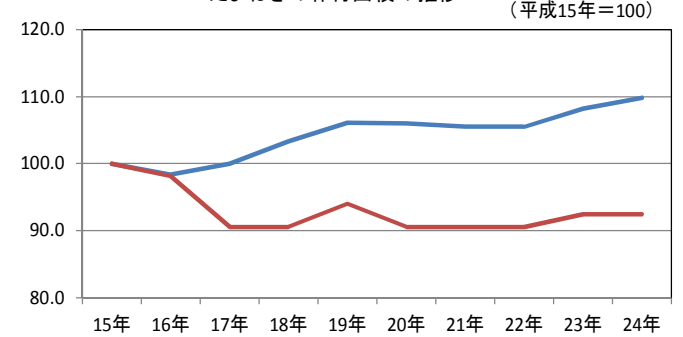
なお、さといもは、指定産地からの出荷割合は14%と他品目に比べて低いものの、近年の家計消費を中心とする需要の減退や輸入さといもの定着等もあり、国内生産の減少がみられる。

今後、輸入シェアを奪回して全国的な周年安定供給体制を構築するためには、新たに導入された「加工・業務用野菜産地強化対策事業」も活用しつつ、産地や生産者組織を主体に作柄安定化技術の導入等に積極的に取り組むことが期待されている。



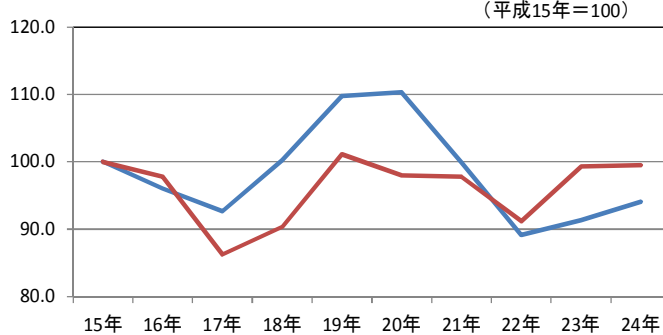
資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

たまねぎの作付面積の推移 (平成15年=100)



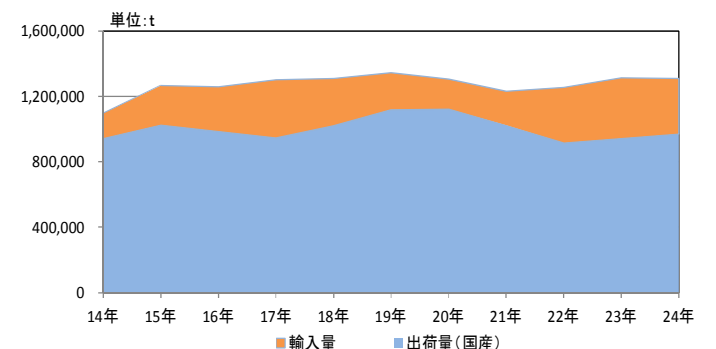
資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

たまねぎの出荷量の推移 (平成15年=100)



資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

たまねぎの輸入量・出荷量の推移



資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「野菜生産出荷統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。